学校番号	T3010

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新訂版　高等学校　公共（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

（学習の進め方）

ア　現代の諸課題を捉える視点や枠組み，基本的な概念の理解を図ります。

イ　一斉授業，グループ学習，発表などの学習活動を行い，ものごとを多面的・多角的に考察し，公正に判断する力を養います。

（学習に当たって）

ア　日頃からメディアで報道される時事的な課題に関心を持ち，調べたり論点を見いだしたりといったことに努めること。

イ　客観的な資料に基づいて，諸課題を考察し，解決のあり方を模索する態度を身に付けること。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】

現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する。また，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現する。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権をになう公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　公共の扉　公共と人	1　人は一人では生きられない	a:青年期が人生において持つ意味を理解している。 b:公共的空間とはどのような空間か自分の体験や具体的な事例に基づき思考している。 c:多様な人間と協働する公共的空間の担い手としての自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		2　人はどのようにつながるのか	a:交換により 人と人がつながっていることを理解している。 b:自分の経験に基づき、交換と贈与について表現できる。 c:将来自分が働くことを想定し，自分の労働力をどのように生かすべきか自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		3　自由と正義の実現を目指して	a:ヘーゲルの弁証法，アダム・スミスの自由放任，ロールズの格差原理などの概念を理解している。 b:自分がどの思想家の理論に共感したか，その理由を表現している。 c:自由で公正な社会を実現に向けて主体的に思考している。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート

		4 対話から生まれる公共	a:ハーバーマスの対話的理性，公共圏の概念を理解している。 b:意見の異なる相手との対話が実践できる。 c:対話によりコミュニティや社会をよりより良いものしていこうという意欲が見て取れる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		5 日本の公共思想	a:日本における「おおやけ」と欧米における「パブリック」 の違いについて理解している。 b:現在の日本社会の公共的なあり 方は先人の政治的取り組みの成果であることを表現している。 c:歴史の流れの中に私たちは生きていて，公共的空間を未来へつないでいく存在であるという自覚を持っている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
	第1章 公共の扉公共と倫理	1 功利主義と義務論	a:功利主義と義務論の相違について理解できている。 b:社会現象や政策判断を，功利主義，義務論の考え方に基づき表現している。 c: 学習した内容を自らの倫理観， 過去の行為に照らし合わせ，思考している。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		2 水俣病を考える	a:経済成長と公害の相反関係について理解している。 b: 水俣病について，功利主義と義務論の考え方を用いて表現している。 c: 自立した主体として公害のような社会問題にどのように向き合うべきか自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		3 地球温暖化問題	a:温暖化の原因について理解できている。 b:日本がどのような方法で CO^2を削減できるか思考している。 c:CO2 削減のためには，一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し、当事者として何をすべきか思考している。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		4 誰が医療を支えるのか	a:医療を受ける人と，医療費を負担する人が必ずしも同一ではない現在の日本の医療制度を理解している。 b:海外の医療制度と比較して，日本の制度がどのように異なるか考えている。 c:5年後，10年後の人口分布を想定し，主体として医療制度問題に向き合っている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート

	第1章 公共の扉 公共の基本原理	1　生徒会予算をどう分配するか	a:生徒会予算をどう分配するか異なる意見を持つ他者の考え方を理解しようとしている。 b: 公共的な観点から，表内の選択肢について自らの考えを表現している。 c:相手の意見を聞き，複数の選択肢を横断し，最適な解を模索している。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		2　意見が分かれたときにどう決めるか	a:生徒会運営を通じて，政治の意思決定や合意形成の方法など民主主義社会におけるさまざまな仕組みを理解している。 b:民主主義のさまざまな制度がなぜ必要なのか，表現できている。 c:自らが共同体のメンバーであり，政治的主体であるという自覚をもっている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
2学期		3　民主政治の歴史	a:社会契約説，自然権，三権分立など民主政治の重要概念を理解している。 b:個人と国家の関係を契約という 視点から捉え思考，表現している。 c:自らが持っている人権（自然権）について自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		4　日本国憲法の三つの原理	a:大日本帝国憲法と日本国憲法の相違点を理解している。 b:立憲主義の意義について適切に表現できている。 c:巻末の日本国憲法の条文を読み，より理解を深めよう としている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
	第2章 現代社会の諸課題 法	1　法と社会	a:法と道徳との相違点について理解している。 b:法の限界を理解し，法の実効性を高めるための手段について思考している。 c:法について関心を持ち，巻末の法文にあたろう としている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		2　日本の司法制度	a:三権分立における司法の役割を理解している。 b:司法に関するさまざまな仕組みを裁判の公正性という 観点から表現している。 c:憲法訴訟について自ら調べ，違憲，合憲の判決について思考しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート

	第2章　現代社会の諸課題　政治	1　選挙と政治参加	a: 民主主義とは，国民に主権があるという基本的な考え方に基づき，これを実現するためにさまざまな選挙制度や法律があることを理解し，その内容を読み取っている。 b:個々の選挙制度についての利点と難点を，民意をよりよく反映させるという観点から説明することができる。 c:選挙に関心をもち,18歳になるときを想定して，主権者としての自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		2　国会と内閣	a:国会の仕組みや立法手続き、行政組織,三権の均衡など基礎的な知識を習得している。 b:国会と内閣および行政組織の関係を理解したうえで，官僚政治の問題点，政治主導に転換した現在の課題点について思考し表現している。 c:私たちの民意を実現するために，よりよい政治の仕組みを考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		3　国家主権と領土	a: 領域，国民，主権の国家の三要件について正確に理解している。 b:国家とは何かという抽象的な見方・考え方に基づき，具体的な領土問題，日本人拉致問題について思考している。 c:日本は近隣諸国との摩擦をどのように解消するべきかという問題について思考している。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		4　安全保障と防衛	a:憲法９条と，自衛隊，日米安全保障条約，集団的自衛権をめぐり，さまざまな解釈と裁判があり，こんにちにいたる歴史的経緯を理解している。 b:憲法9条と日本の安全保障政策の複雑な関係について理解し表現できる。 c:平和主義という理念と，安全保障という現実のジレンマのなかで思考し，両立させる道を模索しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
	第2章　現代社会の諸課題　経済	1　職業選択	a:仕事と私生活の両立を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の意義を理解させる。 b:職業のあり方が産業構造の変化とともに変わることを念頭に，自らが就労する近い将来を見据えて，働くことの意味と価値を表現できる。 c:働くことの意味について思考し，経済的主体としての自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート

		2　雇用と労働	a:日本経済の強みと言われてきた独自の雇用システムについて理解している。 b:日本型雇用システムの課題という観点から，非正規雇用，女性労働，働き方改革などの課題を総合的に捉え，表現している。 c:労働環境めぐる変化の中で，自らが将来どのような働き方を望むか主体的に思考している。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
3学期		3　財政の役割	a:財政の３つの役割についての知識を習得している。 b:財政が市場経済で発生する諸問題に対処するため政府が行う経済活動であるという観点から，コロナ禍の経済対策としての行われた給付金などについて説明できる。 c:住んでいる地方自治体の歳入・歳出の内訳，予算配分などについて関心をもち，調べている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		4　少子化と社会保障	a:社会保障制度が必要とされてきた歴史的背景を理解している。 b:日本の「国民皆保険」，「国民皆年金」の考え方を理解したうえで,持続可能な社会保障制度と財源不足のジレンマについて考え表現している。 c:少子高齢化がさらに進む近い将来に，自らが社会保障費の負担者となることを考慮し、この問題を考えている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		5　金融のはたらき	a:直接金融，間接金融の違いと，銀行，証券会社など金融機関の役割を理解している。 b:金融の仕組みを通じてお金が流れ，経済主体の間を循環していることを表現している。 c:預金や株式などに関心を持ち，経済主体としての自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート
		6　グローバル化と経済統合	a:なぜグローバル化が進行したのか，その経済的効果を含め説明できる。 b:グローバル化による恩恵（もしくは弊害）を時事的な事象や，身近な例を用いて説明，表現している。 c:日本のさまざまな産業にとって自由貿易，保護貿易，グローバル化がどのような影響を与えるか、多面的に思考している。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度